

全視情協 / ないーぶつうしん

2001/7/28

**NAIIV**通信

**No.27**

発行

発行責任者 川越 利信

特定非営利活動法人

**全国視覚障害者情報提供施設協会(全視情協)**

事務局 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2 日本ライトハウス盲人情報文化センター内  
Tel.06-6441-0015 Fax.06-6441-0039 E-mail: naiiv@kurumi.sakura.ne.jp

主 な 内 容

- 全視情協臨時総会開催 ..... 1
- 平成13年度事業計画 ..... 6
- ないーぶネット報告 ..... 11
- お知らせ
  - ・新会員紹介 ..... 16
  - ・川越理事長、ユニバーサルアクセシビリティ賞受賞 ..... 17
- 全視情協富山大会日程表(案) ..... 18

平成13年度 日盲社協情報サービス部会

ならびに全視情協 臨時総会報告

去る6月13日(水)~15日(金)、福岡市の「ホテル海の中道」において第49回全国盲人福祉施設大会が開催された。初日に各事業部会が開かれ、情報サービス部会では平成13年度全視情協臨時総会を兼ねた会合を開いた。

今回はNPO法人として初の総会で、前年度事業報告や新年度の計画・予算などを審議した。全視情協では今後、春に臨時総会、秋の全視情協大会時に本総会を開催していく予定である。

日 時 平成13年6月13日(水) 13:40~16:10

場 所 ホテル海の中道(日盲社協福岡大会会場)

出席者数 会員総数92施設中80施設(委任状36施設を含む)

会の成立 定款第28条の規定により定足数を満たし、本会は有効に成立

司 会	金津和榮（ライトハウスライブラリー 館長）
議 長	西田洋一（熊本県点字図書館 館長）
	田尻 彰（京都ライトハウス点字図書館 館長）
記 録	岩井和彦（日本ライトハウス盲人情報文化センター 館長）
	岡本博美（山口県盲人福祉協会点字図書館 館長）
議事録署名人	宮田孝男（富山県視覚障害者福祉センター 所長）
	小林久寿（山梨ライトハウス盲人福祉センター 所長）

## 理事長挨拶

これまでの基本テーマを見ると‘ネットワーク’で貫かれている。昨年は法人化にエネルギーを注いだ。定款第3条の目的の文言からその理念を再確認する。法人として改めるところは改めるが、しかし形式論に陥らないようにしたい。平成13年4月から事務局長制をとった。委員会活動も、固定委員とプロジェクト委員からなる新しい形態をとるようになった。今後とも利用者の立場にたった活動を継続したい。

## 《議事》

### 1 平成12年度事業報告ならびに決算報告

#### (1) 事業報告

理事会3回、常任理事会4回、また、企画会議は組織上では位置付けられていないが3回開催。大会を茨城県立点字図書館主管で開催したところ、250名の参加を得た。

全体事業としては、

- (1) NPO法人化：平成13年2月23日付で大阪府より認証された。法人成立は2月27日である。
- (2) ないーぶネット：平成11年、視覚障害者情報ネットワーク整備事業費が補正予算として認められ、日本点字図書館と全視情協で「点字図書館等情報ネットワークシステム委員会」を発足させ、関係者の献身的な努力の結果、4月より本格稼働を始めた。日本点字図書館やパイロット館をはじめ、全面的にご協力いただいた委員ならびに委員を派遣していただいた施設に心から感謝したい。システムの名称は、4月から本格稼働したシステムを「ないーぶネット」または「現行システム」と言い、DOS版を「旧システム」と言うことにしたい。
- (3) デジタル録音図書（DAISY）の普及：各ブロックにデイジー担当者を配置し、相談体制を整えた。全視情協は、平成11年度をもってデイジーコンソーシアムから脱退（平成12年6月21日付）。
- (4) 著作権問題研究：障害者放送協議会メンバーとして文化庁等への働きかけを行っていたが、平成13年1月から改正法が施行された。第37条において公衆送信権が認められたことで、ないーぶネットの利用を広げたい。

- ( 5 ) 専門性の確立：日盲社協点字出版部会と協力して、点字技能認定制度運営委員会が組織され、第1回の検定試験が実施された。受験者577名中、合格者は21名という予想外の厳しい結果となった。
- ( 6 ) 書籍の発行と社会啓発：全視情協の任務に社会啓発がある。地域の社会福祉協議会等へ、各種書籍とあわせて「初めてのガイド」のビデオの販売を進めたい。「点訳のてびき」は「日本点字表記法」発行後、13年度内に発行する予定である。
- ( 7 ) その他：デポジットライブラリー構想や弱視者サービスへの取り組みは十分な成果が得られなかった。

## ( 2 ) 決算報告

藤野事務局長から平成12年度の事務局会計、ないーぶネット会計、書籍会計の3会計報告が行われ、樋口監事（神奈川県ライトセンター所長）から6月4日・5日に大阪の全視情協事務局で行われた会計監査の結果報告がなされた。

その結果、

- 各種物品購入における決裁を行うこと
- 高額物品購入時の契約締結に一部不備がみられたこと
- 費目ごとの会計事務処理を行うこと

等の指摘を受けた。若干の不備はあったが、全体を通して概ね適正であるとの報告をふまえ、今後より一層の事務処理強化と事務局長のチェック体制を整えていくこととなった。具体的には、樋口監事にご協力いただいて、早急に、庶務・会計処理規則、旅費規程等諸規則を整備していく。

質疑の中で、長崎県立点字図書館の秋武和俊館長から、法人化に伴う税制上の優遇措置について質問があり、川越理事長から、「税制上の優遇措置については今後の展開を見守っていきたい」との回答があった。

平成12年度事業報告・決算報告については承認された。

## 2 役員改選について

平成13～14年度役員については、任期は、平成13年7月1日から平成15年3月末までとなる。

(理事12名)	川越 利信	藤野 克己	田中 徹二	後藤 市郎
	金津 和榮	岩井 和彦	西田 洋一	田尻 彰
	竹島 信也	小林 久寿	岡本 博美	平地 秀樹
(監事2名)	樋口 悦朗	橋本 宗明		

新役員については、拍手をもって承認された。

### 3 平成13年度事業計画ならびに予算について

#### (1) 事業計画(6ページに掲載)

平成13年度は、「ないーぶネットの本格稼働とネットワークを活用したサービスの充実」を基本テーマとして、別紙資料のとおり、日盲社協情報サービス部会とNPO法人にわけて事業を行う。

情報サービス部会に点訳と録音の2委員会を置く。日自振の補助金を受けて行う点訳・音訳両講習会も情報サービス部会事業である。ただし、職員研修会(全視情協大会)と「音訳マニュアル」発行は情報サービス部会とNPO法人の両事業にまたがる。NPO法人としての事業は、ないーぶネットの運営が中心である。ないーぶネット研修会では、インターネットに対応できない視覚障害利用者へのサポートも重要であり、13年度は6月から順次ブロック別研修会を行なう。

NPO法人の収益事業として、これまで同様、(株)大活字に委託した書籍等の発行・販売を行う。

委員会活動は、敏速性をはかるため、3名の固定委員と、役割と期間を限定したプロジェクト委員とで進める。今年度から新たにシステム管理委員会を置き、その下に「システム運用プロジェクト」を設置して、2002年3月までの1年に限り、鹿児島県視覚障害者情報センターの吉弘さんと日本点字図書館の勢木さんをお願いすることになった。

情報サービス部会加盟施設以外の全視情協会員としては、「ひなぎく」をはじめ、日本盲人会連合点字図書館、筑波技術短期大学視覚部図書館、佐賀ライトハウス六星館、「にじの会」が参加している。

正会員会費は、4万円であるが、日盲社協情報サービス部会加盟施設で「ないーぶネット」利用料を納めている会員については利用料のうち4万円を全視情協会費として取り扱う。また、「ないーぶネット」利用料を納めていない会員施設についても、NPO法人は会費徴収が必須であるが「新しい費用は徴収しない」と言う申し合わせをしていることもあり、当分の間、会費を徴収しないこととする。

#### (2) 予算

13年度予算は、NPO事業会計として非営利事業会計と収益事業会計、さらに日盲社協情報サービス部会会計を別にして編成された。

13年度事業計画・予算については、ともに承認された。

質疑の中で、川越理事長は、「公共図書館との相互協力などの観点からもさらに輪を広げる意味で会員増を目指したい。また、システム管理委員会等では若い人たちの力でネットワークを発展させてほしい」とコメントされた。

#### 4 全視情協大会について（日程案は18ページに掲載）

今年度は、10月17日(水)～19日(金)、富山市において開催される。なお、昨年は全国図書館大会と日程が重なってしまったという経緯があったので、今年はこの点について配慮した。(全国図書館大会は10月24日～26日、岐阜県で開催)

2日目の全体会2では特に今年がボランティア国際年であることにちなみ、「施設とボランティアのあり方」を協議する。

特に、今回より、最終日に大会式典を設けた。

最後に、主管施設である富山県視覚障害者福祉センターの宮田孝男所長より挨拶があった。

#### 5 その他

1. 中途失明者に対する点字学習指導について、視覚障害者リハビリテーション協会と全視情協とでプロジェクトを組み、テキストの作成を推進する。委員は、全視情協5名と視障リハ協6名とからなる。
2. これまでの全視情協会則に代わるものとして、NPO法人の定款をふまえた細則を制定する。
3. Nリンク(「ないーぶネット」図書管理システム)については、申し出があれば提供するので、ないーぶネット事務局に連絡してほしい。無断でコピーしてボランティア団体等に提供されると問題が生ずるので気をつけていただきたい。

#### 6 川越理事長挨拶

NPO法人化に尽力いただいた盛田参与ならびに組織体制の整備を提案いただいている樋口監事に感謝したい。秋の全視情協大会頃までには、書類等の整備も進むことと思われるが、それに伴う支出等もあわせてご理解願いたい。

国政で構造改革が取りざたされるようになった。心配していることのひとつは、国の補助金がなくなる可能性、ふたつ目は、盲人福祉の運動は早くから展開されたが、現在、視覚障害関係は低迷していることである。日盲連・日盲社協・盲学校はそれぞれ足固めが必要で、さらに類縁機関である公共図書館とのタイアップが必要となる。当会は、4月から事務局長に藤野氏に就任いただき、他団体との関係を調整しながら事業を進めることになるが、渉外・財務・諸規定整備・将来構想を練ることなど組織のあり方検討が必要であろう。また、本会として今後、関係諸団体との関わり、ネットワークをはじめ、日本点字図書館と日本ライトハウスを中心に、その他の施設との役割分担を検討し、バランスをとりたい。法人化によって社会的使命を果たすとともに、利用者へのサービス向上に努力したいので、一層のご理解とご協力を賜りたい。

## 全視情協 平成13年度事業計画

基本テーマ（平成13～14年度）

「ないーぶネットの本格稼働とネットワークを活用したサービスの充実」

- 参考 11～12年度 録音図書のデジタル化と「ないーぶネット」の充実  
9～10年度 視覚障害者情報提供施設の機能・役割の抜本見直し  
7～8年度 点字図書館ネットワークの構築  
（システム形成・構築、サービスの標準化）  
5～6年度 点字図書館ネットワークの構築（基礎の構築）

事業計画

日盲社協情報サービス部会事業

- ・平成13年度点字指導員講習会（研修会）開催（日自振補助事業）
- ・第20回音訳指導技術講習会開催（日自振補助事業）
- ・点訳委員会活動  
講習会準備・運営
- ・録音委員会活動  
講習会準備・運営  
デジタル録音図書の普及
- ・職員研修会（全視情協大会）開催（日自振補助事業）
- ・「音訳マニュアル」（「活動するあなたに」改訂版）発行（日自振補助事業）

NPO法人事業

- ・「ないーぶネット」の運営と旧システムの維持  
システム管理委員会活動  
研修会の開催
- ・サービス委員会活動  
「ないーぶネット」の充実  
ハンドブック改訂  
情報提供サービスの向上
- ・「ないーぶ通信」の発行
- ・視覚障害者福祉の啓発と出版（収益事業）  
「音訳マニュアル」（「活動するあなたに」改訂版）発行  
「点訳のてびき」改訂版編集発行  
点訳問題集の改訂作業
- ・全視情協大会の開催  
日時：平成13年10月17日(水)～19日(金)  
会場：名鉄トヤマホテル(富山市)

## 平成13年度 委員会活動計画

### サービス委員会

委員長：小野俊己（日本点字図書館）

委員：後藤健市（北海点字図書館）

川崎 弘（千葉点字図書館）

#### 《委員会の位置付け》

「総合ないぶネット」の開発が終了したことにより、今後は、ネットワークの維持・発展に努めるとともに各種サービスの標準化を目指す。活動は、固定メンバーの基に標準化、ネットワーク、各種研修等必要に応じてプロジェクトに分かれて行うが、相互に連携を取るものとし、委員長は、各プロジェクトを統括する。

#### 《組織構成》

##### 1 研修会プロジェクト

- (1) 情報提供施設の職員の資質向上のための研修会の企画・立案を行い開催する。
- (2) 「ないぶネット」加盟のボランティアグループ・公共図書館・大学図書館との相互の協力関係を維持するための研修会を開催する。
- (3) 目録入力マニュアルの水準維持のための研修会開催：情報提供施設職員・「ないぶネット」参加会員などに、資料と利用者を結ぶ基本的なツールとしての目録規則の理解と、コンピュータ目録の作成指導を行う。

目録業務について、全視情協で知識ある担当者の養成講習を行う：情報検索演習、記述目録法により目録作成の実際とオンライン目録の理解。カード目録作成演習や、コンピュータ目録作成の演習を行い、「ないぶネット」の書誌情報の水準の維持と向上を目的として、5年計画で養成し担当者を増やしていく。

検討作業期間 4月～11月

##### 2 点字・録音雑誌一覧製作プロジェクト

「点字雑誌一覧」「録音雑誌一覧」の調査を実施する。

検討作業期間 5月～7月

##### 3 簡易マニュアル製作プロジェクト

「ないぶネット」のNリンクシステム、ネットワークの運用マニュアル、操作マニュアルなどの各種マニュアルについて、日常扱う上で簡易版のマニュアルを製作する。

検討作業期間 4月～7月

#### 4 ハンドブック改訂プロジェクト

- (1) 「点字図書館ハンドブック」の改訂版として、「情報提供施設とコンピュータ」について、取りまとめた資料を作成する。
  - (2) デイジー化の中で生じているデジタル化時代の著作権問題について、現場職員が対応できる「マニュアル集」を作る。日本図書館協会サービス委員会と協力して障害者サービスでの視点で取りまとめた資料とする。
- 検討作業期間 5月～14年3月

#### 録音委員会

- 委員長：姉崎久志（神奈川県ライトセンター）  
委員：熊谷成子（静岡県点字図書館）  
和田 尚（島根県西部視聴覚障害者情報センター）

#### 1 第20回音訳指導技術講習会実行委員会（プロジェクト）

##### 第20回音訳指導技術講習会

- 日時：平成13年11月20日(火)～22日(木)(予定)  
会場：日本ライトハウス盲人情報文化センター（大阪）

#### 2 デイジー推進委員会（プロジェクト）

- ・デイジー相談窓口の継続  
平成13年度に引き続き相談に応ずるとともに回答集を掲示板に掲載する
- ・再生機の評価  
プレクストークやピクタリーダーの評価を行うとともに、次世代機への要望をまとめる

#### 3 その他

上記プロジェクトの企画運営に参加するとともに次の事業を推進する。

- (1) 音訳マニュアル「事例集」の検討を年度後期を中心に行う
- (2) デイジー図書の制作推進検討  
日本ライトハウスに設置される「デイジー推進センター」(仮称)との協力の下、デイジー図書の制作環境の整備と音訳資料流通のための企画ならびに提言を行う。



## 点訳委員会

委員長：高橋恵子（千葉点字図書館）  
 委員：水谷吉文（天理教点字文庫）  
 金子ゆき（日本点字図書館）

### 1 研修会プロジェクト

平成13年度点字指導員研修会

日時：平成13年8月29日(水)～31日(金)

会場：アルカディア市ヶ谷（東京）

### 2 「点訳問題集」等改定プロジェクト

「点訳のてびき」改訂に伴うテキスト類の改訂作業を行う。

### 3 点字データ向上委員会（プロジェクト）

「ないーぶネット」新規入会希望団体の点訳技術を判定するとともに、ネットワーク上の点字の質の維持にあたる。

## システム管理委員会

委員長：西田洋一（熊本県点字図書館 館長）  
 委員：村井晶人（日本ライトハウス盲人情報文化センター）  
 滝沢政晴（日本点字図書館）

システム管理委員会は、ないーぶネットに関わるすべてのことがらを扱うとともに、ダイジェ配信など今後の「ないーぶネット」のあり方を検討する。なお、「システム運用プロジェクト」を立ち上げ、「ないーぶネット」がスムーズに運用されるよう努める。

また、大阪事務局（日本ライトハウス盲人情報文化センター内）には「ないーぶネット」事務局を置き、会員管理（テレフォニーを除く）・会費徴収等の事務処理および旧システムの維持管理を行い、東京事務局（日本点字図書館内）においては、システム管理と、会員管理のうちのテレフォニーに関するものを扱うこととする。

「点訳のてびき」改訂特別委員会

- 委員長：藤野克己（視覚障害者生活情報センターぎふ館長）  
委員：水谷吉文（天理教点字文庫）  
高橋恵子（千葉点字図書館）  
小菅一代（上野点字図書館）  
竹谷幸子（日本赤十字社北海道支部点字図書センター）  
高久加代子（神奈川県ライトセンター）  
稲葉富子（福井県視力障害者福祉協会点字図書館）  
綾塚潤一（大阪市立早川福社会館）  
桑島久代（香川県視覚障害者福祉センター点字図書館）  
内間啓子（沖縄県点字図書館）  
加藤三保子（にじの会）  
渡辺聡子（点訳ボランティアグループ連絡会）  
小林一弘（日本点字委員会）  
当山 啓（日盲社協点字出版部会）

以下の日程で改訂作業を行い、平成14年3月、改訂版を発行する。

平成13年4月7日～9日(岐阜)第6回作業委員会

第3章・第5章について検討

第1章・第2章修正案について検討

5月2日～3日(岐阜)第7回作業委員会

第3章の案について検討

6月2日～4日(岐阜)第8回作業委員会

第2章・第3章・第4章について検討

7月4日～6日 第3回「点訳のてびき」改訂特別委員会

7月6日～7日 第9回作業委員会

8月20日 「点訳のてびき 第3版(原案1)を加盟施設・点字指導員研修会参加者へ発送、意見を求める。

9月3日 (原案1)に対する意見締切

9月7日～9日 第10回作業委員会

10月1日 (原案2) 発送

10月17日～19日 第27回全視情協大会で「点訳のてびき 第3版(案)を提案、承認を得る。

平成14年2月 第4回「点訳のてびき」改訂特別委員会

3月 「点訳のてびき 第3版」発行

## ないーぶネットサポート研修会ご報告

ないーぶネット

事務局長 村井晶人

去る6月25日より7月12日まで、各ブロック単位で「ないーぶネットサポート研修会」を実施してまいりました。

研修を担当していただいた日本アイ・ビー・エム株式会社アクセシビリティ・センター、サポートにご協力いただきましたASV(全国視覚障害者インターネット接続支援連絡会)の皆様、会場を提供していただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました。

今年12月からはDAISY図書のインターネット経由の配信実証実験なども予定され、通信回線のブロード化でIT化にさらに拍車がかかる様相が生まれつつあります。

著作権問題でクリアすべきハードルは残されていますが、点字図書に続き、録音図書もインターネット経由での利用が可能となること、また、パソコンを意識させない「インターネット読書機」の開発計画など、従来パソコンが使えなかった読者層の利用可能性が生まれることで、今後のサービス面でさらに大きな変化が予測されます。

しかし、情報摂取、あるいは情報伝達手段ということでは、パソコンを使用したインターネット利用は大きな意味があり、たとえDAISY図書のインターネット対応製品が開発されたとしても、パソコン利用は減少することはないと考えます。

下記報告書の中にもパソコン講習会を予定されている施設が16施設あります(計画中包含)。今回サポートにご協力いただきましたASVの皆様と地域図書館の結びつき、パソコンサポートをどのように具体的に進めてゆくのかといった課題も残されています。

これらの課題につきましては、関係者の皆様と相談させていただきながら改善を図る方向ですすめたいと考えていますので、今後ともご協力をお願いいたします。

以下に日本アイ・ビー・エム株式会社様からの報告書を掲載させていただきます。

---

全国視覚障害者情報提供施設協会 御中

日本アイ・ビー・エム株式会社  
アクセシビリティ・センター

ないーぶネットサポート研修会 レポート

- <主催> 全国視覚障害者情報提供施設協会(全視情協)
- <背景> 2001年4月、ないーぶネットがスタート  
個人会員の入会希望者多数。現在1000人に近づく状況。

パソコン操作が理解されていないため、ないーぶネットの活用が十分にはかかれていない。

< 目的 > ないーぶネットの操作を中心に、入会に際してのアドバイス、ならびに入会後の個人会員をサポートのできる地域に根ざした人材育成を目的とする。

< 対象 > Windows基本操作について既習の職員・パワーユーザー

< 期間 > 6 / 25(月)~7 / 12(木)

< 場所 > 全国7ブロック

	東北	関西	中国・四国	関東	九州	中部	北海道	計
施設	7	9	11	12	9	9	7	64
職員(晴)	6	13	14	14	7	8	7	69
職員(視)	1	0	2	4	0	5	2	14
ユーザー	11	8	7	11	13	5	9	64
付き添い	1	0	1	0	0	1	0	3
ボランティア	0	0	0	1	3	3	0	7
ASV	0	5	2	3	0	1	0	11
計	19	26	26	33	23	23	18	168

施設 64箇所  
視覚障害者 78名  
晴眼者 90名

< 研修環境 > Windows 98 SE  
ホームページ・リーダー バージョン3.01  
JAWS Ver3.7  
無線LAN、PHSによるインターネット環境

< 研修内容 >

1. ないーぶネットの目録検索と目録・点字データの受信
  - (1) 簡易項目、全項目からの検索と目録・点字データの受信
  - (2) 受信目録から、点字データ番号を取得し、データ番号を指定してのデータ受信
  - (3) 新着図書情報からのデータ受信
  - (4) オンライン・リクエスト
2. 点字データ利用関連ソフトのダウンロードとインストール
  - (1) 解凍ソフトeoのダウンロード
  - (2) eoのインストールと環境設定
  - (3) win - besのダウンロード
  - (4) インストールと環境設定

<進め方> 10:00 ~ 16:30 ( 8:30 ~ 17:30 )

1. ないーぶネットの操作の流れ
2. ホームページ・リーダーVer3.01とJAWS上での操作説明
3. 実習

<講師> 第1回目～第4回目 根岸・小池  
 第5回目～第7回目 河本・大岡

<アンケート>

視覚障害者へ

- Q 1 DOS版ないーぶネットにアクセスしたことがある..... 24
- Q 2 インターネット版ないーぶネットにアクセスしたことがある... 23
- Q 3 音声ブラウザ(スクリーンリーダー+IE)は何を使用していますか
- |   |    |
|---|----|
| HPR2.5.....                                     | 25 |
| PC-Talker + IE.....                             | 17 |
| 95Reader + IE.....                              | 12 |
| OutSpoken + IE .....                            | 2  |
| JAWS + IE .....                                 | 4  |
| Voice Exproler.....                             | 1  |
| ボイス・サーフィン.....                                  | 2  |
| 計 音声ブラウザ - (HPR, Voice Exproler, ボイス・サーフィン) ... | 28 |
| スクリーンリーダー + IE.....                             | 35 |
- Q 4 Privateで、インターネットに接続する時間
- |                     |    |
|---------------------|----|
| 1時間以内.....          | 42 |
| 1～2時間.....          | 4  |
| 2～3時間.....          | 4  |
| 3時間以上.....          | 2  |
| 計 インターネットに接続している... | 52 |
- Q 5 6点入力を使用している..... 5

図書館晴眼者職員へ

- Q 6 Windowsの知識は持っている..... 38
- Q 7 視覚障害者向けパソコン講習会を企画している...14館
- 岩手、宮城、茨城、神奈川、山梨、栃木、日点、岐阜、名古屋
- 熊本、島根、広島、高知、鳥取
- 計画中... 2館 小樽、北海

<ユーザーからのリクエスト内容>

検索結果を3000件以上表示したい。これは、目録受信で多量のデータを受信してオフラインで検索したいから。通信料と音声での内容確認で時間が必要なため。受信時の点字データの作業方法を簡易にしてほしい。簡易検索条件でも指定項目が多い。書名、著者名程度でも十分。カゴに入れる作業と確認の手間が多い。パスワードとIDの入力が困難。

<成果および担当所感>

研修に関して

全てのブロックにおいて図書館職員+ユーザーという形で参加していただき、視覚障害者の情報提供のあり方を知っていただくことができ、有意義であった。図書館として、既にユーザー研修を実施している施設、また、今後計画している施設など前向きに取り組む姿勢があり、今回の研修を参考にさせていただけることを期待している。パワーユーザーに関しては、多岐にわたる機能(ないぶネットだけではなく)の習得を希望する声もあった。JAWSとHPRの共存時の問題を解決し、JAWS、HPRの切り分けを意識せずにする方法を検討していく必要あり。

全般的に

各ブロックのご担当者に前向きに取り組んでいただき、全般的にスムーズに実施できたことを感謝している。時間的に制約があり、進行速度がはやく、十分な内容を伝えることができなかったことが残念。もっと、余裕をもって企画できれば、さらによい研修を提供できたと思われる。ASVの方々のサポートは、ユーザーにとって非常な助けになった。また、拠点の図書館との連携が強化されたことも今後の活動に良い影響を与えている。全国のパワーユーザーを中心にユーザーサポートの基盤が強化され、パワーユーザーを通して、ないぶネットの活用方法が一般ユーザーに浸透することが見込まれる。

以上

## ないーぶネット研修会ご案内

今年度のないーぶネット研修会は下記要領で開催されます。申込は7月末日までとなっていますが、多数の参加が予想されます。

1. 日時 平成13年9月19日(水)午後1時より  
20日(木)午後3時まで
2. 会場 全国身体障害者総合福祉センター 戸山サンライズ  
〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1 電話03-3204-3611
3. 問合せ ないーぶネット東京事務局  
〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4  
社会福祉法人日本点字図書館 滝沢政晴  
電話03-3209-0241 FAX03-3209-2431  
E-Mail .nanet-jimu@nittento.or.jp
4. 内容(概略)
 

9月19日(水)	12:00 ~	受付
	13:00 ~	開会式ほか
	13:25 ~	TRCマークに基づく書誌データの作成
	15:00 ~	点字データのないーぶネットへのアップダウン
	16:40 ~	視覚障害者の情報アクセス環境 「ないーぶネットを中心として」
	18:30 ~	食事・交流会(高田馬場チムニー)
	20:10 ~	自主学習会(日本点字図書館多目的室)
9月20日(木)	9:00 ~	相互貸借: オンリク
	10:30 ~	相互貸借の事例報告
	11:30 ~	管理上の注意 バックアップ・データ管理
	12:00 ~	閉会式
	12:15 ~	(休憩・食事)
	13:00 ~	CSVデータの活用法 目録出力 住所ラベル (自由参加)

お知らせ

新規会員紹介

当会のNPO法人化に伴い、新しく会員になられた施設は以下のとおりです。  
現在、全視情協には93施設が加盟しています。

佐賀ライトハウス六星館（館長 竹田寿和）

〒840-0815 佐賀市天神1-4-16

TEL 0952-29-6621

FAX 0952-29-8971

身体障害者通所授産施設。昭和56年の開所以来、点字出版事業を行ってきた。施設の社会化を一層促進するため門戸を開放し、地域社会との交流を密にしていきたいと考えている。

筑波技術短期大学視覚部図書館（館長 沖吉和祐）

〒305-0821 つくば市春日4-12-7

TEL 0298-58-9510

FAX 0298-58-9520

視覚障害者が利用できるメディア（墨字図書・拡大図書・点字図書・録音図書・電子図書等）での図書館資料の収集  
音声合成装置を用いての検索システムの導入  
電子図書閲覧室の設置（電子図書の利用、辞書検索、文献検索等）

社会福祉法人日本盲人会連合 点字図書館（館長 笹川吉彦）

〒169-8664 東京都新宿区高田馬場1-10-33

TEL 03-3200-0011

FAX 03-3200-7755

昭和46年開設。利用者は三療業を中心とする全国の視覚障害者。医療書を主とした自然科学および生活・実務書、文学ではミステリーに力を入れ、製作・貸出を行っている。他に講習会開催等により点訳・朗読ボランティアを育成指導。

にじの会（会長 遠藤幸子）

〒960-8165 福島市吉倉字八幡50-3

TEL 024-546-8317

FAX 024-539-5639

情報提供活動（点訳・音訳・触図）、外出支援活動、中途視覚障害者の点字学習援助等、視覚障害者の社会参加支援活動を行っている。



## 施設名称変更

ロゴス点字図書館（旧、カトリック点字図書館）

〒132 - 0052 東京都江東区潮見2 - 10 - 10 日本カトリック会館内

TEL 03 - 5632 - 4428

FAX 03 - 5632 - 4454

（住所・電話番号・FAX番号は従来のままです）

## 全視情協退会

「フィラデルフィア会・声の文庫」は、上記ロゴス点字図書館と統合のため、全視情協ならびに日盲社協情報サービス部会を退会されました。

## 川越理事長、ユニバーサルアクセシビリティ賞受賞

去る5月17日(木)、当会の理事長川越利信氏(JBS日本福祉放送常務理事)が、(財)日本ITU協会のユニバーサルアクセシビリティ賞を受賞されました。

(財)日本ITU協会は、国際電気通信連合(ITU)やアジア・太平洋電気通信共同体(APT)等の国際機関への協力、ITU等に関連する資料の収集、調査・研究、開発途上国への技術協力等により、世界の通信および放送の発展に寄与することを目的とした組織です。毎年、功績賞・国際活動奨励賞を設けて表彰を行っていますが、平成13年は日本ITU協会設立30周年を記念して特別功労賞・ユニバーサルアクセシビリティ賞の2賞が加えられました。

川越理事長が受賞されたのはこのユニバーサルアクセシビリティ賞の開発・普及の分野で、主として視聴覚障害者・高齢者のための情報通信技術の開発・普及に顕著な貢献があった人に贈られるものです。このほか、開発の分野で6点漢字考案者の長谷川貞夫氏が、普及の分野で「全国視覚障害者外出支援連絡会」の釜本美佐子氏が受賞されました。

## 第27回全国視覚障害者情報提供施設大会(富山大会) 日程表(案)

日時：平成13年10月17日(水)～19日(金)

会場：名鉄トヤマホテル

日・時	会議等	会議の内容	担当
10月16日(火) 15:00～18:00	理事会		理事会
10月17日(水) 10:00～12:00	施設長会議	平成13年度 通常総会	理事会
12:30～13:00	受付		主管施設
13:00～13:30	開会式・ オリエンテーション	開会と研修内容説明	理事会
13:30～14:00	機器展示品説明		主管施設
14:00～17:00	全体会1	「ないーぶネット」の活用	サービス委員会
17:00～18:00	チェックイン・休憩		
18:00～20:00	交流会		主管施設
10月18日(木) 9:00～12:00	分科会1	デージー図書製作について	録音委員会
	分科会2	「点訳のてびき」改訂について	「点訳のてびき」 改訂特別委員会
	分科会3	施設長会議 これからの施設運営	理事会
12:00～13:00	昼食・休憩		
13:00～15:50	全体会2	施設とボランティアのあり方	理事会
16:00～17:00	講演1	厚生労働省	理事会
17:30～19:00	夕食		
19:00～21:00	自主学習会1	デージー図書について	録音委員会
	自主学習会2	点字表記改訂について	点訳委員会
	自主学習会3	「ないーぶネット」について	システム管理委員会 サービス委員会
10月19日(金) 9:00～10:30	全体会3	各委員会報告 他	理事会
10:30～11:00	講演2	日盲連会長 笹川吉彦氏	理事会
11:10～12:00	第27回全国視覚障害者情報提供施設大会・式典		主管施設・理事会
10月17日 13:00～ 18日 18:00	機器展示	自由見学	

正式な案内は8月中に郵送されます。